



防災学習発表会を行いました

5月から総合的な学習の時間で取り組んできた防災学習のまとめレポートを作成し、発表会を行いました。防災学習のまとめは、これまで取り組んできた活動の中から心に残った活動を選択し、写真を添付してまとめました。タブレットを使いこなしている生徒が多く、素早く完成させた生徒が多かったです。今回作成したまとめレポートは、学校祭で掲示をします。保護者の方にもぜひご覧いただきたいと思います。

今回の学習で、生徒たちは防災について多くの学びを得て、これまでよりも防災、減災について自分事として考えられるようになったと思います。この学習を生かし、自分と大切な人の命を守るという意識をもって、生活してほしいと思います。梅雨の末期は大雨になり災害の危険性が高まると言われています。今一度、ご家庭で防災、減災について考えるきっかけとさせていただければ幸いです。よろしく願います。

備蓄食料体験

備蓄食料のことで調べたり、実際に食べたりしました。備蓄食料には、ごはん、ようかん、ビスコ、レトルトカレー、ペーカリーなどのたぐさんの種類があることを知りました。また、その内の一つ、アルファ米をクラスで食べました。アルファ米とは、水(60分)、お湯(15分)を入れると、炊き立てのご飯が食べられるという備蓄食料です。食べてみると、味、食感は備蓄食料とは思えないほどのクオリティでとても美味しかったです。このような食料が家に備えてあると、とても避難所生活も安心しておくれるので、とても便利だなと思いました。



これからの生活で生かしたいこと

『防災教育』での、三つの体験をすることで、災害時についてもっと考えておくことが重要だと思いました。今まで、防災についても、具体的に何をすればよいかあまり分かっていなかったけど、二つのゲーム(HUG-DIG)と、三つの体験(避難所体験・断水体験・備蓄食料体験)をすることで、どんな時でも、災害に対して危機感をもち、それに備えていくことが大事だと学びました。これからは、常に災害時の行動について考えたり、家族で話し合っ自分や家族の身を守っていきたいと思いました。





防災学習を通しての感想

- ・ 周りに頼るのではなく、「自分で」判断して行動できるようにならないとなあと思った。冷静に対応できるとは思ってないけど、何が何でも自分で自分のことを守ろうと思う。
- ・ DIG で行った近所の建物の確認、避難するとよい場所、危険な場所を家族で話し合い、絶対に命を落とさないように、日ごろから意識するだけでなく、実行していきたい。
- ・ 今回の学習をきっかけに、実際に非常用の水を岐阜県まで汲みに行きました。
- ・ この学習をする前までは家族と防災のことを話すことがなく、非常用カバンがどこにあるか、避難経路をどこかなどは確認していなかったけど、今回の学習をきっかけに家族と話す話題になり、自分の家に非常食が足りないことに気がきました。